

59回生 学年通信 Brave

第19号
2023年1月31日発行



2年主任

コロナ禍で3年ぶりの開催予定でしたが、1月26日に予定していたマラソン大会が十年に一度の寒波が襲い、延期となりました。12分間走で自分の走力を確認し、目標タイムを設定し、自分の体力の限りチャレンジすること、全員が無事完走することを願っています。

さて、高校生活も残すところ1年となりました。最後の1年はみなさんにとって進路実現の年となります。進学するにせよ、就職するにせよ、自分の望むところに進んでほしいと願う気持ちは、我々も保護者の方々も同じです。

まず、目標を高く設定し、その目標に向けて努力を積み重ねるしか方法はありません。1年後つまり12か月後にその目標を達成するためには、1日1日の積み重ねしかありません。ある日突然何かができるようになるわけではなく、毎日少しずつできるようになることを増やしていくのです。

1人1人持てる力は異なりますが、それぞれの力の限りチャレンジし、全員が自らの進路決定まで完走することを信じています。

長い長いマラソンのような1年になることを覚悟し、ゴールした時の達成感と高揚感を得てほしいと願います。



総合的な探究の時間 学年発表を終えて

総合的な探究の時間において助言をいただいていた大阪成蹊大学の大塚康央先生が、12月21日(水)に行った地域研究「宝塚学」の学年発表にコメントを寄せてくださいました。

現在はグループでの探究を終え、各個人で調査レポートを作成しているところです。いただいた助言を踏まえて、次は「さらに発展させる」段階へと進みます。2月10日の締め切りまで、しっかりと取り組みましょう。

宝塚高校「探究」発表 感想

12月21日の発表、しっかり調査されたものばかりで、とても良かったと思います。

宝塚を知ることで地域に関心をもち、まちを身近に感じて良くしたいという意識につながればという気持ちもあって、生徒のみなさんに投げかけをしたところですが、さまざまな調査をしたことで何か変わったところがあったでしょうか？

探究の進め方については、半分のグループしか聴くことができませんでしたが、アンケート調査、インタビュー調査を各グループそれぞれ行っていました。社会調査の方法として、この2つは柱になるものであり、探究の時間に、この活動を経験したことはとても良かったと思います。

探究の時間の中で、みなさんは、さまざまなところに出かけ、インタビューやアンケートを実施されている姿は、地域の人にとっても、高校生が宝塚のことを考え、調べているということが伝わり、相互にいい関係をつくるきっかけにもなったのではないのでしょうか？

また、発表もはっきり元気よく行われていて好印象でした。

なお、今回、調べたことをさらに掘り下げると、面白さが増してくるのではないかと感じました。

例えば、公園チームでは、公園の規模によって期待されていることが異なっていることと実際の利用との関係がどうか、観光関係だと、宝塚市への観光入込客数がどうか、農業の生産額がどうか等、市全体の状況をつかむ等、全体の姿が見えると、もっと良かったと思ったところがありますが、これは、探究の時間の目的である、「さらに発展させる」という考えで進めていただければと考えています。

本当に、素晴らしい発表やまとめになっていたと思います。

私も、いろいろ勉強になりました。ありがとうございます。

今後のみなさんのご活躍に期待しています。

令和4年12月22日

大阪成蹊大学経営学部経営学科公共政策コース 大塚 康 央



2月、3月の予定

- 2月2日(木) マラソン大会
4日(土) 大学入学共通テスト早期対策模試
10日(金) 漢字検定(校内実施、申し込みをした生徒のみ)
13日(月) 1~6限:45分授業、7限:大掃除
14日(火)
~15日(水) 生徒休業日
20日(月) 1~5 限:授業(1,2,3,4,6限の時間割)
6 限:大掃除、卒業式準備
21日(火)
~28日(火) 学年末考査
28日(火) 3 限:卒業式予行
3月1日(水) 卒業式
2日(木) 特別時間割授業開始
8日(水) 大掃除
9日(木)
~13日(月) 生徒休業日
15日(水) 球技大会
17日(金) 教科書購入、個人写真撮影
23日(木) 大掃除、終業式



*学校カウンセリング: 2月6日(月)、13日(月)

